



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第28巻
第7号) 編集後記・購読要項・投稿
規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第28巻第7号) 編集後記・購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要 1982, 28(7): 940-940

ISSUE DATE:

1982-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/123125>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

Vol. 28, No. 7 ACTA UROLOGICA JAPONICA

July 1982

泌尿器科紀要

第28巻 第7号 1982年7月



腎温阻血後の尿中 N-Acetyl- β -D-Glucosaminidase

活性値の変動について.....松浦 健・ほか... 803

泌尿器科的腎疾患および腎移植後における尿中 N-Acetyl- β -D-Glucosaminidase

活性値.....松浦 健・ほか... 813

膀胱癌患者の細胞性免疫能に関する研究

第6報: 患者末梢血中の T_H 細胞画分の変動について西尾 正一・ほか... 821

代用尿路に関する実験的研究.....中村 武夫・酒井 晃... 829

腎細胞癌に対する手術・合併療法の効果と問題点.....増田富士男・ほか... 843

膀胱吊上術の経験.....神田 英憲・ほか... 853

尿道狭窄の治療.....国方 聖司・ほか... 861

睾丸腫瘍の後腹膜 Bulky 腫瘍切除術田利 清信・ほか... 867

石灰化をともなった褐色細胞腫の1例.....上門 康成・ほか... 877

皮膚筋炎に合併した後腹膜悪性奇形腫(印環細胞癌)の1例.....真田 俊吾・ほか... 885

上部尿路閉塞を合併した後腹膜悪性リンパ腫の1例.....梅山 知一・ほか... 893

膀胱尿管逆流現象にみられた小児腎性高血圧.....朴 勺・ほか... 899

尿膜管癌の5例.....高橋 俊博・ほか... 905

右停留睾丸を伴った陰茎前位陰囊の1例.....青 輝昭・ほか... 913

S状結腸膀胱瘻の3例

一S状結腸癌の2例, S状結腸憩室炎1例.....村上 憲彦・ほか... 917

TSAA-291 の内分泌機能に及ぼす影響片山 喬... 923

下部尿路閉塞性疾患における尿流動態の研究

II 排尿困難に対する Alpha adrenergic blocker (phenoxybenzamine)

の効果について.....北野 太路・ほか... 927

京都大学

2956361

図書

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

禁帯出

到着後 1ヶ月間

編 集 後 記

卒業教育について (Ⅱ).

学習効果をあげるために、卒業研修の目標を明確にさせておくほうが良いことは論をまたない。

しかし卒業研修の目標を、泌尿器科専門医となるためのものとする、1機関だけで独自のものをつくっても余り意味がない。日本泌尿器科学会教育委員会で専門医制度あるいは認定医制度を含めて研修の目標が真剣に論じられ、大凡の合意を得たものを作らねばならない。

ではそういったものがない現状ではどのようにすればよいか、それはその事情に応じ、「次の段階に進む準備のある医師を造る」ように目標を定めればよいと思う。たとえば筆者の大学ではストレートで入局し、1年の研修の後、教育関連病院に出るようにしているが、その病院で研修し教育を受ける準備のある医師を造りだすことを1年間研修の目標にしている。

(O. Y.)

購 読 要 項 (1982年6月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込む。

投 稿 規 定 (1982年6月改定)

1. 投稿: 連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿: 泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、その他で和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷书、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田:または山田・ほか:)と、2語(例:前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ii) 英文抄録: ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2. などとし、なるべく英文とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷书で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷书で、欧文はタイプする(例: 山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員): 題名、雑誌名、巻: 最初頁~最終頁、発行年。

単行本の場合—著者名(全員): 題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲 載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。

- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。

- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員: 石神 襄次

前川 正信

宮崎 重

新谷 浩

園田 孝夫

友吉 唯夫

桐山 畜夫(副主幹)

吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第28巻 第7号

1982年7月25日 印刷

1982年7月31日 発行

発行 吉田 修

顧問 加藤 篤 二

発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入